

《入選》

ジェンダー平等

亀山小学校 五年

山崎 里桜 さん

今、わたしたちの学校で五年生はSDGsの勉強をしています。SDGsを調べていくうちに「ジェンダー平等を実現しよう」という目標があることを知りました。

わたしは、「男の人がスカートをはく」とか「かみの毛が長い」ということに対して、「変だな。女の人みたい。」と小さいときは思っていました。でも今は男の人だつてスカートをはいて良いし女の人だつてかみの毛を短く切つて良いと思っています。わたしはたまに自分のことをぼくとかおれと言うこともあります。ジェンダーは平等

になった方がわたしは生きやすいし、大人になった時生きやすい環境になると思います。

今日本で女の人は総理大臣、政治家になりにくいし、給料も男性より少ないこともあると知りました。このままでは、やりたい仕事ができないかもしれません。他の国では女の子に生まれたからという理由で、仕事や学校に行かせてくれないところもあるそうです。日本はこういう意味ではジェンダー平等になつていてと思います。

また、男の人が男の人と結婚することができればいいし、女の人と女の人と結婚できるとその人たちが幸せに暮らせるようになったらいいと思います。日本はなぜ同性結婚が認められないのか気になります。人はみんな平等なのだから、認めてあげてほしいです。

わたしたちが大人になったらジェンダーギャップ指数一位のアイスランドのようになり、みんな自由にいろんな仕事ができるような服装やスタイルになれるようになっていたらうれしいです。でも日本はジェンダーギャップ指数が一四六ヶ国中一二五位になつていて今のままでは完全にジェンダー平等になるには一八九年もかかるかもしれないと聞いたことがあります。だからわたしはジェンダー平等になつた日本を見ることができないかもしれないです。でも、わたしはジェンダー平等になれるように努力していきたいです。それがみんなの人権が守られることだと思つし、みんな平等であるべきだともわたしは思っています。